

（株）島津製作所 瀬田事業所

# 2016年環境報告書

2016年7月25日

## <事業所概要>

所在地 大津市月輪1丁目8番1号

事業所名 株式会社 島津製作所瀬田事業所  
 [敷地面積 36,406平方メートル]  
 [全建屋投影面積 32,212平方メートル]

代表者 所長 徳増 安則

本社所在地 京都市中京区西ノ京桑原町1番地

## <主な事業所内企業>

企業名 (株) 島津製作所  
フルイディクス事業部

従業員数 12名

営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター  
油圧バルブ等の企画・開発

本社所在地 京都市中京区西ノ京桑原町1

企業名 島津メクテム (株)

代表者名 取締役社長 西村節志

資本金 100百万円

従業員数 130名

営業品目 真空熱処理炉・歯車ポンプ  
工業用X線検査装置  
ガラスワインダーの製造・販売

企業名 島津プレシジョンテクノロジー (株)

代表者名 取締役社長 岩崎正弘

資本金 30百万円

従業員数 250名

営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター・  
油圧バルブ等の製造

企業名 島津エミット (株)

代表者名 取締役社長 西村節志

資本金 40百万円

従業員数 31名

営業品目 電動バルブアクチュエータ・  
真空ポンプの設計・製造・サービス

企業名 島津ロジスティクスサービス (株)

従業員数 28名

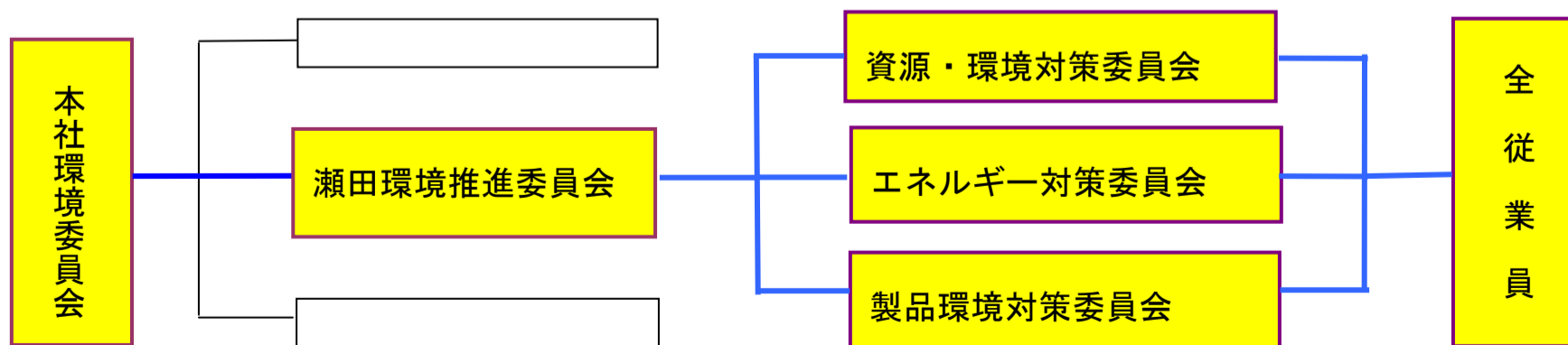
主な業務 製品出荷

その他常駐企業 8社

従業員数 35名

主な業務 運搬・警備・清掃他

## <環境改善運動組織>



## <所長ご挨拶>

当事業所は、(株)島津製作所本社（京都市）が定める環境方針に基づき、2001年6月にISO14001認証取得により本格的な環境改善活動をスタートさせました。今日までISO14001に基づく環境マネジメントシステムの活用を通じて「廃棄物の分別・再資源化等による有価物率やリサイクル率の向上」「省エネルギーの推進によるCO2の削減」「環境にやさしい製品の開発」等の活動を中心に、環境負荷の低減に努力してまいりました。また、この琵琶湖と水と緑に恵まれた美しい豊かな自然と地球環境を保全するため、自然環境の維持向上と地域社会との調和にも配慮してまいりました。

更に、弊社独自の「環境自己宣言活動」を全員で実施し、環境における目標意識の定着と全員参加型の活動を展開してまいりました。このような継続した環境教育や啓発活動の推進と並行してボランティア活動への積極的な参加により、企業人市民としての地域と協働した社会貢献活動にも取り組んでまいります。

近年、気候変動や生物多様性の危機等、地球規模の環境悪化は人類にとって深刻な問題となっています。今後、私たちは省資源・省エネルギー・環境負荷低減製品の開発など、多くのテーマで地球環境問題に取り組み、環境保護と社会の持続的発展・豊かな社会の実現に向け活動してまいります。また、このことを弊社の基本理念に置き、次世代の地球環境を視野に入れた事業活動を展開してまいります。

今後とも関係諸官庁および地域企業各位の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。文末になりましたが、以下に弊社の環境方針を掲示させていただきます。

2016年7月25日

(株)島津製作所瀬田事業所 所長 徳増 安則

### 1. 基本理念

人類の健康と地球規模の環境保全は全世界共通の願いであり、社会の一員として地球環境問題を当社の最重要課題の一つとして位置づけ、当社経営理念「人と地球の健康」への願いを実現する」べく企業活動を行い、地球を守り豊かな社会の実現に資する。

### 2. 基本方針

当社本社地区事業所は、環境分析・測定機器、などを含む、分析機器、計測機器、試験機器、医用機器、航空機器、油圧機器、産業機器、バイオプロダクト及びセンサ・デバイスの開発・製造・販売・サービスの拡大に努めるとともに、本社地区事業所の業務活動、製品ならびにその製造過程及び関連サービスが環境に与える影響を的確に捉え、継続的な環境マネジメントシステムの改善により、持続的な環境負荷の低減と汚染の予防、社会の環境改善への積極的貢献を目指して、次の基本方針に基づき活動する。

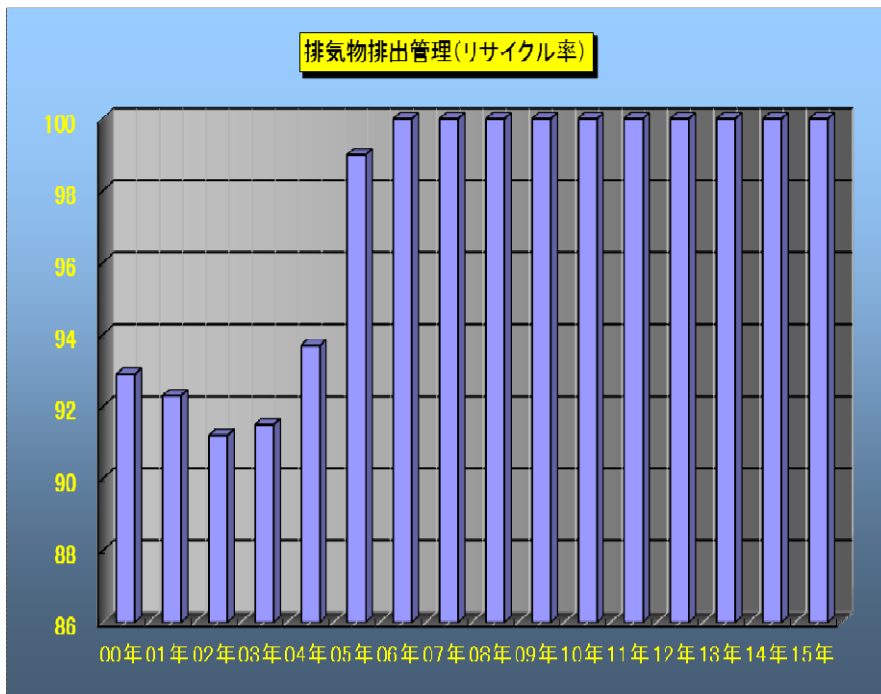
- (1) 地球環境の保全と事業活動との調和を、経営の最優先課題の一つとして、本社地区事業所をあげて取り組む。
- (2) 地球環境の保全活動を推進させるため、従業員及び敷地内で働く全ての人が活動できる組織を整備する。
- (3) 地球環境保全に従業員及び敷地内で働く全ての人が責任をもって取り組むべく、環境教育及び啓発活動を行ない、地球環境保全に資する。
- (4) 事業活動によって生じる環境への影響（環境汚染、資源減少、地球温暖化、オゾン層破壊、生物多様性の損失など）を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境保全活動の継続的な向上を図る。
- (5) 国際的環境規制及び国、地方自治体などの環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。また、必要に応じて自主基準を策定して環境保全に努める。
- (6) 当社本社地区事業所が行う事業活動が、環境に与える影響のうちで、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進する。
  - ①事業活動によって生ずる環境負荷の低減や持続可能な資源の利用促進、汚染の予防を図る。
  - ②機能や用途により社会の環境改善に役立つ製品（環境貢献製品）およびライフサイクルを通じて環境負荷の低減に配慮した製品（環境配慮製品）を、積極的に提供し、社会の環境改善に貢献する。
  - ③気候変動の原因となる二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出削減に努め、地球温暖化の防止、低炭素社会の実現に貢献する。
  - ④これまで行ってきた環境活動を向上させ、生物多様性の保全に努める。
  - ⑤蓄積された環境保全のノウハウを使って外部の環境活動を支援する。
- (7) 地域住民、関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献する。

## <2015年度の主な環境改善活動>

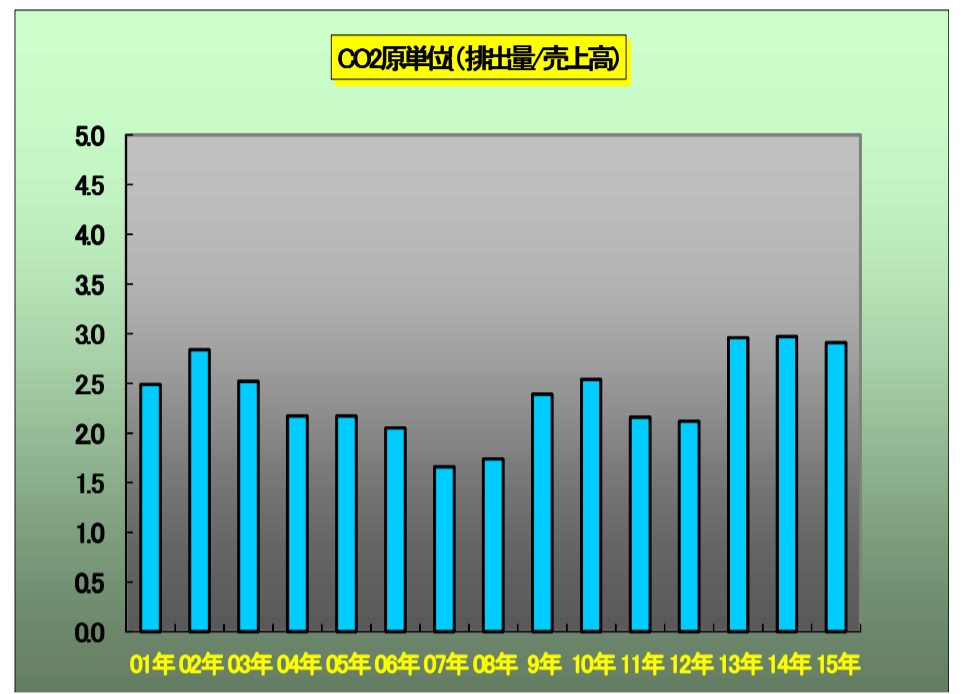
- ・ 2015年 3月 2015年度・環境改善計画を決定
- ・ 2015年 4月 環境自己行動宣言活動における自己評価の実施
- ・ 2015年 4月～7月 環境マシンのマニュアルにもとづく特別教育・緊急訓練および一般教育の実施
- ・ 2015年 4月～ 新環境改善計画にもとづく、全従業員による改善活動の実施
- ・ 2015年 5月 (株)日本環境認証機構による外部審査を実施。全面停電（3日）の実施
- ・ 2015年 5月～10月 クールビズの実施。ライトダウン日設定による看板ライトアップの消灯。
- ・ 2015年 7月 琵琶湖を美しくする運動参加（島津メクテムは、50年間連続参加）
- ・ 2015年 10月 上期環境改善活動における総括評価の実施
- ・ 2015年 12月 内部監査の実施
- ・ 2016年 3月 ゼロエミッション達成（リサイクル率100%）、エコラベル製品1件取得、北館1階水銀灯LEDに更新。

《2015 年度環境改善活動実績の一部》

廃棄物管理



CO<sub>2</sub> 管理（エネルギー起因）



琵琶湖を美しくする運動市民清掃

隣接する河川(養老川)の清掃を7月3日に実施。



以上

平成 28 年 7 月 25 日

大 津 市 長 様

株式会社 島津製作所瀬田事業所

所長 徳増 安則

### 環境保全協定に基づく報告書の提出について

環境保全協定第 4 条第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の環境保全活動の取組について、以下のとおり報告します。

- 別添のとおり提出します。

平成 28 年 7 月 25 日

大 津 市 長 様

島津メクテム株式会社

取締役社長 西村 節志

### 環境保全協定に基づく報告書の提出について

環境保全協定第 4 条第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の環境保全活動の取組について、以下のとおり報告します。

- 別添のとおり提出します。

平成 28 年 7 月 25 日

大 津 市 長 様

島津プレシジョンテクノロジー株式会社

代表取締役 岩崎 正弘

### 環境保全協定に基づく報告書の提出について

環境保全協定第 4 条第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の環境保全活動の取組について、以下のとおり報告します。

- 別添のとおり提出します。